



コレクティブハウスの運営について意見を
交わす入居希望者ら=前橋市紅雲町で

県内初「コレクティブハウス」

少子高齢化などの影響で地域のつながりが薄れるとされる中、共有スペースがあり居住者同士の交流を促す集合住宅「コレクティブハウス」が増えている。群馬でも6月、県住宅供給公社が県内初のコレクティブハウスを前橋市元総社町に開設する。

【塩田彩】

公社が貸主

「みんなで食事をわいわい食べるとおいしくなると思う」「食べる分まで作れるかはいいけど、人の食べる分まで作れるかどうか不安」

前橋市内の同公社の一室に20日、30～70歳代の男女5人が集まつた。建設が進むコレクティブハウスの入居希望者だ。共有スペースの使い方などについて話し合うワークショップ

6月、前橋に開設

この日は月に何回か居住者が一緒に食事をとする「コモンミール」について話し合った。参加した安中市の女性会社員(37)は、「いろいろな世代の人と知り合えるし、互いの顔を知っているから防犯面でも安心」と入居希望の理由を話す。

コレクティブハウスは北欧で広がり、国内では阪神・淡路大震災後、神戸市が仮設住宅を出る高齢者向けに開設したこときっかけに浸透した。東日本大震災の仮設住宅後のみのあり方としても注目されている。

県住宅供給公社によると、地方都市で、公社が貸主となる公的なコレクティブハウスは全国初。同公社は「公

普月1～2回を行い、この日は月に何回か居住者が一緒に食事をする「コモンミール」について話し合った。参加した安中市の女性会社員(37)は、「いろいろな世代の人と知り合えるし、互いの顔を知っているから防犯面でも安心」と入居希望の理由を話す。

コレクティブハウスは北欧で広がり、国内では阪神・淡路大震災後、神戸市が仮設住宅を出る高齢者向けに開設したこときっかけに浸透した。東日本大震災の仮設住宅後のみのあり方としても注目されている。

「みんなで食事をわいわい食べるとおいしくなると思う」「食べる分まで作れるかはいいけど、人の食べる分まで作れるかどうか不安」

前橋市内の同公社の一室に20日、30～70歳代の男女5人が集まつた。建設が進むコレクティブハウスの入居希望者だ。共有スペースの使い方などについて話し合うワークショップ

共同台所や菜園などの共有スペースは居住者が組合を作って管理し、掃除当番やイベントの開催などを話し合いで決める。一つの家に複数で住むシェアハウスと異なり、通常の賃貸住宅のように各部屋には個別の台所や風呂がある。人間関係が合わなかつたり生活環境の変化に応じて退居もできる。コレクティ

ブハウス運営を手がけるNPOコレクティブハウス(東京都千代田区)の狩野三枝理事(46)は「多様な人とゆるやかにつながりながら生活できる」と魅力を語る。

都内のコレクティブハウスから前橋へ転居を希望している女性(68)は「人間関係でストレスを感じることもあるが、誰かとかかわりながら暮らす楽しみのほうが大きい」という。

24・1881)へ。

「多様な人とゆるやかにつながりながら生活」

共同台所や菜園などの共有スペースは居住者が組合を作って管理し、掃除当番やイベントの開催などを話し合いで決める。一つの家に複数で住むシェアハウスと異なり、通常の賃貸住宅のように各部屋には個別の台所や風呂がある。人間関係が合わなかつたり生活環境の変化に応じて退居もできる。コレクティブハウスは、鐵筋コンクリート造り3階建ての1階部分に1K～1LDK12戸が設けられる。2、3階はサービス付き高齢者住宅。1階には、ほかにデイサービスセンター、保育園もある。4月15日まで入居者を募集している。入居条件など詳細は同公社(027・24・1881)へ。

営住宅でも隣同士が顔さえ知らない場合もある。住民同士をつなぐ場所と仕組み作りは地方政府でも必要になっていく」と話す。